



そらとつちとみどりの会話

NOSAI



台風11号 県内各地に大きな爪痕



台風11号

園芸施設、モモ、ナシ・・・ 県内各地に大きな爪痕

香川県を縦断した台風11号は、モモ・ナシの枝折れや落果、園芸施設の倒壊、建物の屋根損傷など、県内各地に大きな被害を出しました。被害を受けられました農家の方々にはお見舞いを申し上げます。NOSA Iでは、共済加入者への早期の共済金支払いに向け作業を進めています。



風雨で傷ついたモモ(丸亀市)



枝折れしたモモ(丸亀市)



被害状況を確認する職員(まんのう町)



倒壊したパイプハウス(さぬき市)



落果したナシ(観音寺市)

果 樹



落果したモモ(高松市)

建 物



吹き飛んだパイプハウス(まんのう町)

園芸施設



飛ばされた瓦(善通寺市)

●台風11号の県内気象観測値 (高松地方気象台調べ)

降り始めの7月16日3時から
17日23時までの総雨量

小豆島町内海201mm、高松市香南町200mm、
東かがわ市引田189.5mm

最大瞬間風速

東かがわ市引田30.1m、高松27.9m

台風11号による被害状況

共済目的	被害戸数(戸)	被害面積、棟数	主な被害の状況	
果樹	もも	110	27ha	枝折れ、落果、キズ果
	なし	18	5ha	落果、キズ果
園芸施設	337	537棟	被覆材の破損、本体の倒壊	
建物(総合)	65	84棟	屋根、壁の損傷	



落果し、出荷できなくなったナシ(観音寺市)

(平成27年8月1日現在、NOSA I調べ)

※ 台風や風水害など自然災害による建物被害は、総合共済加入棟のみが対象になります。1万円を超えた損害から補償します。

水稲の損害評価が始まっています



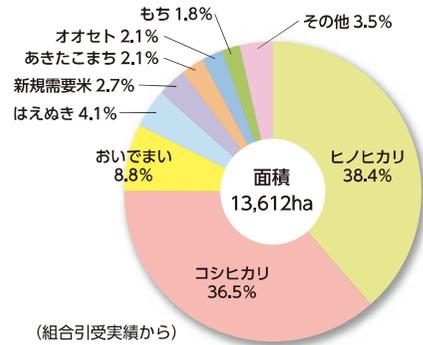
新規需要米の面積拡大 水稲引受面積

平成27年産の引受面積は約1万3,612haで、前年産と比較して、410ha減少しています。

一方、新規需要米（米粉用米、飼料用米）だけを見ますと、280ha増加しています。

品種別引受面積が一番多いのは「ヒノヒカリ」(5,229ha)で、続く「コシヒカリ」(4,971ha)と合わせると全体の70%を超えます。

■品種別引受面積



共済金の支払い例

一筆方式（7割補償）

基準単収（10a当たりの収穫量）が500kgの耕地

7割（350kg）

引受単収・・・組合が補償する収量

○共済金の支払い対象部分

この部分について主食用はkg当たり192円をお支払いします。
(飼料用米はkg当たり12円)

3割（150kg）

○支払対象になりません。

○損害評価の結果、収穫量見込単収が200kgのとき
引受単収 収穫量見込単収 kg当たり共済金額 10a当たり支払共済金
(350kg-200kg) × 192円 = 28,800円

損害評価の流れ

被害申告

損害評価地区と標準田の設置

- ①損害評価を適正かつ効率的に実施するため、評価地区を設定します。
- ②評価眼の統一を図るため、評価地区ごとに標準田を設置します。

悉皆調査

被害申告のあった全ての耕地を、評価員4名以上が検見※で調査し、10a当たり見込収穫量を決定します。その際、肥培管理の粗放、病虫害防除の不適切など、共済事故以外の原因で減収した耕地は分割評価します。



採取調査

悉皆調査終了後、評価地区間の評価に偏りがないかチェックするため、評価会委員が評価地区ごとに10筆を検見、5筆を実測調査します。

諮問

組合は、各調査の結果に基づき、損害評価高を評価会に諮問します。

審査・認定

評価会の答申を得た後、組合がとりまとめた損害評価高を農林水産省に提出し、審査、認定を受けます。

共済金の支払い

12月末ごろの予定です。

※検見とは、収穫期に圃場の内部とその周辺を見回り、被害の種類や肥培管理の状況、穂数など栽培状況を主に肉眼で調査すること

組合では、地区別に損害評価打ち合わせを開催し、本年産水稲の損害評価を行っています。損害評価は、それぞれの稲の収穫期に合わせて実施します。

台風被害はもちろん、イノシシによる被害が多発し、収穫が終わるまでは気が抜けません。組合員の方は耕地ごとに稲の作柄を見て、被害がある場合は共済部長を通じて被害申告してください。

3割超過減収は被害申告をお忘れなく

作付け耕地1筆ごとに、おおむね3割を超える減収があると思われるときは、損害評価野帳（下記記入例参照）を各支所の定める期日（別途案内）までに提出してください。

野帳は、被害耕地1筆ごとに作成してください。

共済金お支払いの対象となる災害は

風水害、雨害湿潤害、干害など気象上の原因による災害や鳥害、獣害、病害、虫害、火災です。（葉害などは対象外）

なお、本田移植前および収穫後（圃場より撤出後）の被害は、共済責任期間外に発生した損害として、共済金支払対象外となります。

また、肥培管理の粗放または不行き届き、病虫害防除の不適切など、共済事故以外の原因による減収量は減収として取り扱えませんので、ご注意ください。

立札はよく見える所へ

立札は悉皆調査の前日までに、風で飛んだり雨で字が消えたりしないようビニールで覆うなどして、収穫が終わるまでよく見える所に立てておいてください。

悉皆調査後、損害評価野帳に調査を行った旨を伝える札を取り付けます。



損害評価野帳の記入例

損害評価野帳（一筆方式）				（通し番号）		被害表示の立札	
（組合記入欄）		（評価員記入・押印欄）		（農家記入欄）		（農家記入欄）	
組合員番号	耕地番号	評価員	評価日	地区名	共済太郎	地区名	共済太郎
分筆番号	引受面積	肥培管理	分割割合	圃場名	〇〇番地	圃場名	〇〇番地
評価地区	農産区分	品種名	分割事由	引受面積	15.5	引受面積	15.5
品種名		品種名	災害の種類	品種名	ヒノヒカリ	品種名	ヒノヒカリ
				災害の種類	風水害		
				発生年月日	9月20日	発生年月日	9月20日
				調査年月日	10月7日	調査年月日	10月7日

（注）
 ① 損害評価は農家記入欄に記入し、収穫期から取り戻って野帳は共済部長へ届けて下さい。
 ② 「災害の種類」は、干害、風水害、病害、土壌病害等と具体的に書いて下さい。
 ③ この野帳を出された耕地は、農業共済組合が理賠を実施することがありますからご了承下さい。

農家が記入して、収穫が終わるまで、被害耕地に立てておいて下さい。

NOSAI

支払戸数と金額

	戸数(延)	金額(円)
水稻	9,123	21,986,187
麦	165	7,852,472
大豆	42	278,108
茶	1	192
園芸施設	326	2,620,401
建物	52,840	35,105,505
合計	62,497	67,842,865

8月26日からお支払い
無事戻し金は、水稻、麦、大豆、茶、園芸施設共済の過去3年間(平成24年度から26年度)に無事故の方にお支払いします。なお、被害があっても3年間の共済金と2年間の無事戻し支払合計額が、3年間の農家負担共済掛金の2分の1(園芸施設は3分の1)に満たない方も対象になります。
建物共済の無事戻し金は、平成25年度加入に対するものです。

無事戻し金

NOSAIがかわからのお知らせ

全国ブランドへ「おいでまい」

四国初の2年連続 特A獲得



香川県産オリジナル米「おいでまい」が平成25年産に引き続き、26年産でも「米の食味ランキング」で最高ランクの特Aを獲得しました。本格栽培3年目の今年、作付面積は大幅に拡大し、高品質を武器にブランド確立、販売拡大を推し進めています。

●県内外でPR活動を強化

平成26年産おいでまいJA集荷量2000トの内、県内は1300ト、県外に700トが販売されました。

炊飯時の米色は明るく、艶があり、「コシヒカリ」並みの粘りど味が特長です。価格も高価格帯の特A米に比べ、手が届きやすいため消費者、小売業者、卸売業者からの評価は上々で、26年産は今年6月で発売しました。

香川県農政水産部農業生産流通課担当者は、「おいでまい」委員会※と協力しながら、さぬきうどんに負けないブランドに育てたいです」と力を込めます。

昨年は新米発表会や特A獲得記念セレモニーの開催、県内プロスポーツの試合などでPR活動を展開。取扱店も増え、スーパーなどで、ピンク色の袋が積まれている姿をよく見かけるようになりました。また、パンや菓子に米粉を利用したり、関連商品の販売も増えつつあります。県政モニターアンケートによると県内のおいでまい

果樹共済
損害評価が始まります

樹種	評価時期
くり	9月中旬
かき	9月中旬～10月下旬
うんしゅうみかん	9月下旬～11月下旬
いよかん	11月下旬～12月上旬
指定かんきつ	11月下旬～翌年1月下旬

被害園地の入り口には立て札をつるし、収穫終了まで撤去しないでください。
収穫直前に被害が発生した際は、速やかに被害申告をしてください。

組合の主な動き

日	内容
9月1～14日	高齢農業者表敬訪問
11日	かき現地研修会
15日	書写コンクール審査会
16日	うんしゅうみかん現地研修会
24日	損害評価会水稻見回り調査
10月1日	第4回理事会、監事会、第3回コンプライアンス委員会損害評価会かき見回り調査
15日	書写コンクール表彰式
17日	大豆損害評価会委員打合せ
19日	畑作物共済協議会中間監査
20～28日	損害評価会みかん見回り調査
27日	書写コンクール優秀作品展示
27～11/1	書写コンクール優秀作品展示

の認知度は87.2%と、大きく向上しました。今後は、都市部である東京や大阪を中心にPRしていく計画です。

●作付面積拡大中

おいでまいの本格栽培が始まった平成25年産から、作付面積を徐々に拡大させ、27年産は面積1300ヘクタール、認定栽培者数540人、推定生産量6500トが計画されています。(グラフ参照)今年産から従来の綾歌南部カントリーに加えて、香川カントリー、飯南・岡田カントリーでも荷受けが開始されます。

作付面積の拡大で、生産量も大きく増加するおいでまい。今年の

全量1等米で意欲向上



丸亀市金倉町 松浦正武さん (65)
「農事組合法人六郷」代表者
「おいでまい」委員会 委員

平成26年産は、作付けした4.3ha全体的においでまいが1等米になりました。全員で取り組んだ結果で、やったぞ! という気持ちです。おいでまいは、食味が良いのはもちろん、粒ぞろいので色白美人です。管理次第で従来品種と同等の収量も確保出来ます。

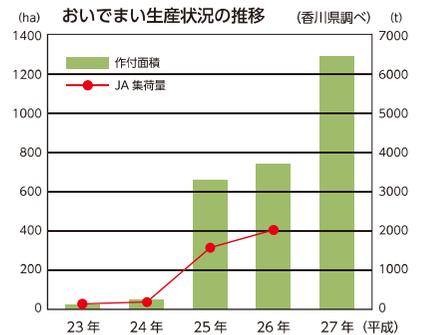
県内で、まだ食べていない人は多いと思います。周りの皆さんと協力しながら食べてもらう機会を増やし、県内消費を掘り起こしていきたいです。

農機具共済
事故、買い替え時は連絡を

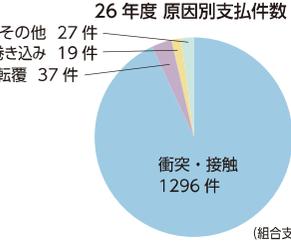
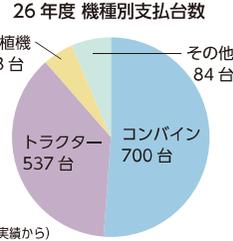
稲刈りシーズンを迎え、コンバインが本格稼働します。平成26年度の農機具共済支払状況を見ますと、事故が一番多い機種はコンバイン(700台)です。原因別では稼働中の衝突接触事故(1296件)で、全体の90%を超えます。(図参照) 始業前に農機具と圃場の状態を十分に確認し、事故の未然防止に心掛けましょう。

加入されている農機具が事故にあった場合、
・事故発生日
・機種
・事故の状況
・修理依頼先
を直ちにご連絡ください。

農機具を買い替えた場合も、速やかにご連絡ください。変更手続きがされていない農機具に事故が発生した場合は、共済金をお支払いできないことがありますのでご注意ください。
近年、農作業中の死亡事故は減



る気配がありません。25年の農作業中の死亡事故は、全国で350件になります。年齢別では、65歳以上の事故が272件と、約8割を占めます。事故原因は、操作ミスや不注意などの人的要因がほとんどです。
過信、慢心をせず、安全に農作業を行いましょ。



各支所の連絡先>>>>>

- 東部支所**
さぬき市大1町田南王子 1-2
TEL(0879)43-4121
- 高松支所**
高松市三名町東原 5-6
TEL(087)888-1146
0120-58-1148
- 小豆支所**
土庄町大木戸甲 5165-169
TEL(0879)62-0694
- 中讃支所**
坂出市川津町金山 1825-4
TEL(0877)46-1211
- 仲多度支所**
普通寺市北町山下 110
TEL(0877)62-5970
- 三豊支所**
観音寺市本大町 1378-3
TEL(0875)25-2482
0120-031-304

10年を機にUターン就農

地域から信頼される農家に

丸亀市綾歌町 竹内 一之さん



キャベツ苗を準備する竹内さん。農場ブランド「ゆうまいキャベツ」のネームバリューを高めようと奮闘中

「地域の人に信頼される農家として、売り上げ重視の経営ではなく、品質を高める農業を実践しようと工夫しています」と話すのは、平成26年4月にUターン、12月に就農した竹内一之さん(34)。キャベツを延べ20haと和牛30頭で経営する竹内農場(竹内章雄代表、従業員4人)の後継者だ。

現在は、主力キャベツの栽培面ほとんどを任せられる。出荷は10月から翌年7月まで。「夏場の農地を有効活用したい」と、ハウスアスパラガス10畝の栽培を始めた。

小学生のころから手伝ってきた農業だが、大学で学ぶうち違うこともしたいという気持ちに。父親から「10年は好きなことをしていい」と許され、卒業後は人材コンサルティング会社に勤めた。「業務で培った人とのコミュニケーションづくりを、経営の中で、地域の中で生かし、規模を拡大していきたい」と一之さんは意気込む。



自然の力と人の手だけで野菜を育てる小松代表(左から2人目)と従業員



自社加工の野菜ジャム。価格は600~800円



ウェディング施設やカフェなど多様な事業を展開するレールサクル



薬に頼らない害虫対策を実践する農場

極上の野菜を提供
無化学肥料・無農薬野菜のイメージを変えたい

三木町 Komatsu Garden Design コマツガーデン・デザイン

清流で鮎を楽しむ

観音寺市茂木町 大西 孝さん 共済部長歴10年

「待ちに待った解禁」と声を弾ませる大西孝さん(66)。鮎の友釣り歴14年、ハイシーズンには週2回以上、四国中の河川へ出かける。

「鮎を操る繊細さと、引きに耐える緊張感は釣りの中でも随一。釣り上げた達成感は、一度味わったら、もう夢中ですよ。自家用車は荷室を改造し、解禁となる5月15日から9月末までのシーズン中は常に準備を整えている。



「とっつきにくいけど、鮎のおもしろさは格別。ぜひ挑戦してほしいですね」と大西さん

全国から消えつつある鮎の遡上河川。「鮎が釣れるのは、自然と治水の共存した非常に貴重な川。豊かな清流に感謝して楽しんでます」

島の原風景に魅せられ

小豆島町 桑田 麻里弥さん

平成27年2月に、大阪から小豆島に移住した桑田麻里弥さん(27)。以前から何度も島を訪れ、「来る度に、自然の原風景が残る環境と人の温もりに魅せられました」と話す。3月から棚田「中山千枚田」近くの『こまめ食堂』で働いている。



以前、飲食店で働いていた経験から、食堂でも接客に携わっている桑田さん

「今は、メニューを考える事が楽しみです」。食堂が管理する畑では季節の野菜が育ち、地元農家から届けられる果物など、豊富な食材を有効活用する。

6月、食堂のスタッフたちと棚田で田植えを初体験。「これからも自分たちで育てた物、頂いた物、それぞれ作った人の顔がわかる安心で安全な農作物を、訪れてくれる多くの方に提供していけたらいいですね」と笑顔を見せる。

「有機無農薬野菜は高いというイメージを変えたい」と話すのは、三木町の「Komatsu Garden Design」(従業員10人)代表者の小松洋子さん(認定農業者、68歳)。現在、借地農地4畝で、無化学肥料・無農薬・除草剤なしの野菜を周年栽培、安い価格で安定的に販売する。年間で栽培する野菜は70種類余り。多種類を栽培し、面積は、一品目当たり10畝を目標にする。大変な除草作業は、草刈機と手作業で作物の成長が草に勝つまでの1~2回だけ行う。病害虫対策では、虫を寄せ付けない忌避効果のある薬木「ニーム」から抽出したオイルを、10日に一度の割合で散布している。収穫した野菜は、関西圏のスーパーに直接販売。農場に併設するレストランでもサラダバーとして楽しめる。週に一度、農場に野菜を買いに来る鍋木望園さん(同町、71歳)は、「最近は無農薬野菜を扱う店が少なくなった。ここで販売す

る野菜はおいしいうえに、値段も市販の野菜と価格はあまり変わらない」と足しげく通う。昨年、徳島県で行われた「オーガニック・フェスタ2014」にキャベツを出品。硝酸体窒素含有が100ppm以下だったことで、金賞を受賞した。小松さんは「おいしさと安全性が科学的にも証明され、自信をもった。面積を10畝に拡大し、将来的には、幼児食や介護食などの分野にも参入したい」とほほ笑む。



夏場はオクラ、トマト、ナス、キュウリ、ピーマンなど、一日平均400袋を出荷

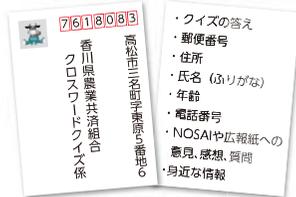
お問い合わせ先レールサクル
☎087・864・4568

クロスワードクイズ

1	2	3	4	
A				D
5			6	
7			8	9
	10	11		B
12				
E		13		

正解者の中から抽選で8名の方に、株式会社さぬき市S A 公社さぬきワイナリーの「さぬきレッドR-1ぶどう100% ジュース」500ml 2本セットをお届けします。たくさんのご応募お待ちしております。

郵便はがきに、①A~Eを順に並べたクイズの答え②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦NOSAIや広報紙への意見、感想、質問⑧身近な情報などをご記入のうえ、ご応募ください。



- 応募の宛先/〒761-8083 高松市三名町字東原5番地6 香川県農業共済組合クロスワードクイズ係
- 応募締め切り/平成27年11月20日(金) 消印有効
- 当選者発表/平成28年1月発行予定の17号で発表

たてのカギ

- 「氷雨」の読み方
- 競技などで優勝者を決めること
- 刺身料理に用いられるつけあわせのこと
- 「面長」の読み方
- 太平洋戦争末期、戦場になった東京都小笠原諸島の島のひとつ
- 広くて大きい海
- 歌を英語に訳すと
- 漢字をもとにして日本で作られた文字のこと

よりのカギ

- 人に知られていない、最も効果的な方法
- 父母の姉や妹。また、父母の兄弟の妻
- 26年産収量のTOP3は、鹿児島県、茨城県、千葉県です
- 香川県の郷土料理のひとつ。「いりこ〇〇」
- 「〇〇とせなかがかくつつこぞ」
- 類語は「思いがけない」、「意外」など
- 大晦日の年越しの時間帯になると行われる砂読み。「〇〇〇ダウン」
- 奇数 ⇔ 〇〇〇〇

応募によって得られた個人情報、賞品の発送と今後の広報紙作成の参考意見とする以外の目的に利用しません。

「前号を見てのご意見」
●「食べて菜」の普及を目指し栽培してみたいです。(綾

- 島町 女性 38歳)
- 直島町ベネッセの田植えに親子で参加しました。土遊びが出来て楽しかったです。(直島町 女性 38歳)
- 緑のカーテンが上手にできません。困ったなあ。(さぬき市 女性 24歳)
- 農家の方の笑顔が素敵で印象深いです。こんな笑顔に囲まれて育つ野菜はおいしいでしょうね。(高松市 女性 17歳)
- トラクター、コンバイン、田植機の農機具共済に加入しているの、安心して農作業が出来ます。(東かがわ市 男性 82歳)

読者の声
たくさんのお便りをいただき、ありがとうございます。ご意見、ご感想の一部を紹介いたします。



- トラクター、コンバイン、田植機の農機具共済に加入しているの、安心して農作業が出来ます。(東かがわ市 男性 82歳)
- 表紙の井手上さん親子の笑顔がいいですね。お母さんもオシャレで若く、まるで姉妹のようです。(丸亀市 女性 73歳)
- キュウリがたくさん取れますが、炒めものにはしたことがなかったので、試してみます。(三豊市 男性 65歳)

第13号当選者発表

答え れんきゅう

《当選者》

- 高嶋 照美さん(さぬき市)
- 林 文夫さん(さぬき市)
- 妹尾喜代美さん(高松市)
- 横田 節夫さん(綾川町)
- 入江 栄子さん(坂出市)
- 小野 順子さん(丸亀市)
- 永井美枝子さん(三豊市)

「ラワーギフト」をお届けしました。

SANUKIHIIME さぬきひめ

人とのふれあいを大切に

まんのう町 山地 里枝さん (25)

今年の3月から、農機具販売会社で受付事務として働いています。入社当初は、機械や農業のことなど分からないことばかり。約半年が経ち、少しは冗談を交わせる気持ちの余裕ができました。これからも、お客様とのコミュニケーションは大切にしていきたいです。

休日は出かけることが多いですね。愛車でのドライブは気分転換になります。旅行も好きで、旅先で出会う人とのふれあいや、その土地のおいしいものを探すのがおもしろいです。国内だけでなく、海外のいろんな場所に行ってみたいです。



Topics

農業経営研修会開催 中規模流通を学ぶ



講師の藤野直人氏

7月22日、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスで株式会社クロスエイジ(福岡県)の藤野直人代表取締役社長を講師に招き、「農業を魅力的な職業に！農業所得1000万円を作り出す「中規模流通」を学ぶ」をテーマに経営研修会を開催しました。農業関係者など約200人の参加がありました。

藤野氏は、大学卒業後1年足らずで会社を設立した経緯や、その後の運営などを実体験に基づいて話してくれました。参加者に向けては、「農家は良い作物を作ることも大事だが、どう所得に結びつけるかが一番大事。」

《藤野氏プロフィール》

食と農の企画・コンサルティング事業の他、農産物の仕入れ業務の代行サービスを展開。九州一円の100を超える産地と80を超える販売先をつなぐ、農業分野では事例の少ないコーディネイト活動を展開しています。



真剣に聞き入る参加者

中讃地域青年クラブ



ぶどうの 紅茶ゼリー

さっぱり味の簡単デザート



材料(2人分)

- | | | | |
|-------------|-------|--------|-------|
| ○ブドウ「ピオーネ」 | 15粒程度 | ○粉ゼラチン | 5g |
| ○紅茶(アールグレイ) | 10g | ○冷水 | 大さじ2 |
| ○グラニュー糖 | 30g | ○水 | 200cc |

作り方



1 ブドウの皮をむく。半分に切り、種があれば取り除く。粉ゼラチンに冷水をふり入れ5分おく。



2 鍋に水、紅茶を加えて沸騰させ、5分蒸しだす。茶葉を取り除き、ブドウ半量とグラニュー糖を加え5分煮る。



3 火を止め、荒熱をとってからゼラチンを加えて溶かす。パットに流し入れ、冷蔵庫で2時間ほど冷やし固める。



4 スプーンで崩しながらジュレっぽく器に盛り、上に残りのブドウを飾る。

料理紹介者

野菜ソムリエ いけだ なお 池田 奈央さん

料理教室「な〜ちえ」
(高松市木太町) 主宰



ブドウの皮は、おしりからむくときれいにむけます。房についていた穴のあいている向きの反対がおしりで、竹串などで穴をあけると簡単です。



直売所。9月末まで営業
☎0879-52-2336

収穫、直売所での販売、荷造り、加工など、秋口まで忙しい日々が続きます。

「加工用は、樹上で完熟させ味が乗り切った特級品を使っています」とPR。
収穫、直売所での販売、荷造り、加工など、秋口まで忙しい日々が続きます。

同園オリジナルのシャワーベットやジュースは道の駅などで周年販売。加工、販売を担当する将博さんは「加工用は、樹上で完熟させ味が乗り切った特級品を使っています」とPR。

栽培歴38年の栄一さんは「土作りと木の枝作りに重点をおいています」と話します。水はけのいい土を園地に混ぜ、有機質肥料主体で土作り。剪定は、その年の気候で微妙に変わる木の生育に合わせて、適期に行うよう心掛けます。

表紙のつづき

モモ2鈴、スモモ1鈴を栽培する、さぬき市造田の「飯田農園」。「写真中央が代表者の飯田栄一さん(60)、同右が妻の隆子さん(60)、同左は長男の将博さん(28)」。約30品種を7、9月に出荷する、モモ専業農家です。

